

■河野通信 武将。伊予にあって、源氏蜂起に呼応し、平家討滅に功。

こうのみちのぶ

保元の乱・・・1156＝ 伊予国で、越智氏の流れを引く豪族河野通清の子に生まれる。母は安芸国沼田氏の女。

平治の乱・・・1159＝ 3歳：

三十三間堂・1165＝ 9歳：

清盛太政大臣1167＝11歳：

藤原頼通没・1174＝18歳：

おそらく、瀬戸内海を平氏に支配されてきたことから、

源氏一斉蜂起1180＝24歳：源氏が一斉蜂起すると、父とともに源氏に通じ、高縄城に籠って、

平清盛没・・・1181＝25歳：反平氏の兵を挙げ、

父の敵奴可(ぬか)入道西寂を討つため舅の沼田次郎に兵を請い、漁夫に姿を変え、酒宴中の西寂を捕え、

後鳥羽天皇・1183＝27歳：

・・・・・・1184＝28歳：

高縄山の父の墓前で殺す。平家の来襲により沼田氏とともに防衛するため備後に赴き沼田城を守ったが敗れる。伊予では平家方の高市一族を打倒し、阿波の田口成良の子則良の伊予への侵入を撃退したのち、

平氏滅亡・・・1185＝29歳：

*源義経の屋島攻撃にあたり、30艘の兵船をもって参加し勝利に貢献する。壇ノ浦の戦では3百艘の大船団をもって紀伊熊野の湛増傘下の2百艘とともに水軍の中核となり、平家打倒の因をなした。これらの功により頼朝から伊予国道後7郡を管領することを許され、道前の守護姓々木盛綱とともに伊予を治める。やがて鎌倉に赴き頼朝に謁見したが、帰国にあたり伊予の本領安堵と御家人の進退を任された頼朝の親書を与えられた。頼朝と義経の不和により、義経に与していたと讒言され、一時頼朝の信頼を失ったようであるが、無実が判明し、

奥州藤原滅亡1189＝33歳

鎌倉幕府始・1192＝36歳：

*頼朝の奥州の藤原泰衡征討に従軍し、阿津賀志山の戦で奮戦の功により奥州で土地を与えられた。

以後、幕府に仕えて功を積み、

源頼朝没・・・1199＝43歳：

・・・・・・1201＝45歳：

執権政治始・1203＝47歳：

新古今集・・・1205＝49歳：

*勲功他に異なるとの理由で伊予国御家人32人を、守護の沙汰を止めて通信に属させ、御家人役を勤めさせるという優遇を受けたが、

・・・・・・1210＝54歳：

北条頼朝確立1213＝57歳：

源実朝暗殺・1219＝63歳：

承久の乱・・・1221＝65歳：

*承久の乱では後鳥羽上皇方に属して活躍。通信の妻は北条時政の女で、妻が通信の功績は北条氏の縁による、と言ったため通信は不快の思いをいだき、京都方についたとの伝えがあるが、義経の死後、幕府との間が疎遠になったからであろう。通信は伊予国内の将兵を率いて高縄山城に抛り、幕府の追討軍と戦ったが敗れ、所領53カ所、公田60余町、一族の旧領まで没収され、奥州平泉へ流され葛西氏に預けられた。配流後、病気となり、

運慶没・・・1223＝67歳：

没した。

「この人どんな人」、